

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名 ちびっこBA-NA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	整理整頓を心掛けている	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	不足しないよう注意している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	重心施設でもあるのでバリアフリーは徹底している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	アルコールでの消毒を行っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	個別支援計画を確認しながら支援を行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者に向けて、評価表は必ず毎年配布、保護者の意見を把握するようにしている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	事業所のホームページに自己評価表の結果を記載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		外部評価を行っていないので、今後は行っていく必要がある。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	利用者の支援の仕方や虐待、医療的ケアの研修を定期的に行っている。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	見学時と契約時に保護者から、話をきいて、アセスメントシートを作成しているのので、ニーズは利用者のニーズは把握できている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	利用者の支援方法を把握するために、詳しく情報をききとるようにしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	計画書はガイドラインを参考に作成しているので、具体的な支援内容を記載するようにしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	常に計画書に沿った支援が行われている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	活動内容は保育士を中心にスタッフ全員で立案している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	月ごとに活動プログラムを立案している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%	個別活動は訓練を中心にした計画をたて、集団活動はレクレーションを中心にした計画を立てている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	午前中にミーティングを行い、その日の活動の打ち合わせや役割を決めている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	夕礼で振り返りを行い、支援の改善点はあるか協議している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	業務日報や提供記録等で支援の内容を確認し、検証や改善に努めている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月に1回のモニタリングを実施しており、支援の評価や見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者と看護師が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	保健所や市役所の担当者の方と情報共有を行って、支援に役立てている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	訪問看護ステーションと連携を取っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	訪問看護ステーションと連携を取っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%		保育所や認定こども園、幼稚園に通う児童がいないため、連携を行っていない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%		今後は情報共有を行っていく必要がある。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	共有事項については連絡を行っている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		保育所や認定こども園、幼稚園に通う児童がいないため、連携を行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		今後の必要性を感じている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々の様子や状況を保護者に報告し、情報共有をしている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0%	100%		今後の必要性を感じている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	ガイドラインに沿った計画所を作成し、保護者に説明を行っているので、同意は得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	モニタリングや送迎の際に相談があれば、対応を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		開催できていない。今後は保護者様の参加しやすい形での開催を考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	重心対応施設のため、児童からの相談はないが、保護者からの相談については迅速に対応を行うようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%		お知らせや案内を配布しているが、会報等は発行していないので、今後は改善していく必要がある。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	重心障がい児が対象のため、保護者との連携は密に行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ落ち着いたので順次開催予定
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	マニュアル作成し、周知徹底し定期的に訓練を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	災害や火事が起きた場合を想定した訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約時のアセスメントで保護者に確認をとっている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時に保護者にききとりを行い、アレルギーの児童に対してはどのような対応をするのかを支援の前に協議している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	できるだけ多く、気づきができるように心がけている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	アンケートや研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	保護者に説明を行い、計画書に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。